

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 6年 1月 19日

事業所名：児童発達支援つぼみ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは広くはないですが、大教室と相談室の用途に応じたお部屋があり、状況によって机やパーテーションの配置を変更しながら活動できるスペースを確保しています。	はい96% どちらともいえない4%	これからも工夫をしながら安全にスペースを確保してお部屋を使っていただけたらと思います。
	2 職員の適切な配置	基準に応じた職員を配置しております。また、ホームページに職員紹介のページを作成いたしました。	はい88% どちらともいえない4% わからない8%	職員との交流の機会や職員紹介等で知っていただけるように努めてまいります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関が階段となっているため、完全なバリアフリーには出来ませんが、手すりの設置、鍵の設置、本年度から玄関付近のセンサーを付け、万が一に備えています。	はい72% どちらともいえない8% わからない20%	設備の見直し等、これからもマメにしていけるように努めてまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、おもちゃの消毒は怠っておりません。子どもたちが大好きなおもちゃなどは年季が入っていますが、大事に長く置くことができましたらと思っております。	はい92% どちらともいえない8%	ひとりひとりが過ごしやすい環境を提供できるように工夫してまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	各クラスの開始前、終了時にミーティングを行い、一人一人のための目標をもって毎日支援に当たっております。		職員の知識・技術の向上のためにこれからも努めてまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部研修で得た情報を共有しながら、改善できるところから改善し、より良い環境になるよう努めております。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じて、外部研修・社内研修を通してスキルアップを図り、知識の共有を図っています。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	本人の施設内のご様子、保護者様からのお話、アセスメントシートの活用しながら、総合的に分析し、必要なこと・頑張してほしいことを計画に載せています。	はい100% 適切な支援計画を提案して下さる。	これからもひとりひとりの分析をし、丁寧に計画の作成をさせていただきます。アセスメントシート、いつも丁寧に記入いただき、大変ありがたく活用させていただいております。ご様子に沿ったニーズの抽出ができるよう、これからも努めてまいります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	状況に応じて組み換え、組み合わせながら、本人にとっての利益を最優先して作成をしています。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な支援項目を2~3つ挙げ、具体的な支援を記載・説明させていただいております。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	スタッフ全体で計画の立案をしているため、確認・把握・実施ができるように努めています。	はい100% ・その日の先生のコメントから確認することが出来る。	支援中の様子はもちろん、個々の今後の進路や生活を想定して支援を進めていけるよう心がけていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各クラスの開始前、終了時にミーティングを行い、全体の活動と個人の目標を照らし合わせながら月ごとにプログラムを決めています。		日々のプログラムを楽しみながら学びがあるように、これからもスタッフ一丸となって考えてまいります。 また、苦手だけでなく、得意も伸ばせるようように立案していけるよう、より一層力を入れて参ります。 ご意見・ご要望をくみとれるようにしていきたいと思っておりますので、遠慮なくご教示いただけるような環境づくりをしていきたいと思っております。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇も営業時間は変更がないため、長期休暇の児童の様子を鑑みながら支援をしていくためのミーティングを細かくし、長期休暇明けの生活リズムについても支援に反映できるようにしています。	はい100% ・運動系、製作系等とバランスよくプログラムが構成されていると感じる。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムの内容は豊富に取り揃えておりますが、繰り返しの練習が必要な物は本筋を変えずに飽きが来ない工夫をさせていただいております。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	開始前のミーティングで確認し、教室後に反省点・改善点を話し合っています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日案にて流れと根拠を明確にしながら話し合い、いつ見ても状況を振り返ることができるように記録しています。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日案にて記録を徹底しており、方法を照らし合わせながら改善点を把握し、次につながるように毎日ミーティングを重ねています。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に見直し、本人にとっての直近のニーズの把握をし直すことでステップアップしています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議にどの職員が出ても把握できている環境を整えています。相談支援事業所様との連携も図れるよう、普段から情報を交換しています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	各機関と保護者様からの要望があった際に訪問やお電話や書面にて情報共有をさせていただいております。令和5年度では訪問を多くの機関でさせていただきました。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修への参加やその他機関との書面を通しての連絡等させて頂いております。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、地域の園との交流は行っておりません。	はい16% どちらともいえない8% いいえ40% わからない36% ・プログラムとして交流があるわけではないが希望すれば幼稚園と連携してくれる説明は受けており、不満はない。 ・幼稚園と併用しているわが子には必要性を感じていない。	流行性の感染症により交流が難しいことや普段の所属園で満足しているとの意見がありますが、今後地域のイベントなどの交流の場があればご紹介させていただければと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在、そういった交流は行っておりません。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にご説明させていただいております。	はい100%	今後ともご質問等ございましたら対応させていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の際にさせていただいております。	はい100% ・納得のいく説明がされる。	今後ともより一層丁寧な説明を心がけてまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	各ご家庭の状況により支援やかかわりが変わってくるため、個別に相談を頂いた際に対応させていただいております。	はい28% どちらともいえない8% いいえ20% わからない44% ・ペアレントトレーニングはないが、言語療法をはじめ、家庭での関わり方など、その都度懇切丁寧に教えて下さる。	ペアレントトレーニングといった形をとっていませんが、ご相談には丁寧に対応させていただきます。必要であれば外部の交流会のご案内もさせて頂ければと思っております。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	アセスメントシートや面談、送迎時のお話、連絡ノート、LINE連絡を通してお話しさせて頂いております。必要に応じて所属の他機関とも連携しております。	はい96% いいえ4% ・所属園と連携をとって情報の共有をしてくださり、大変ありがたい。	今後とも共通理解につなげていけるよう、尽力してまいります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	アセスメントシートや面談、送迎時のお話、連絡ノート、LINE連絡を通してお話しさせて頂いております。	はい92% どちらともいえない4% わからない4% ・こちらの質問に全て丁寧に答えて下さる。	こちらからのお声がけもより一層増やしていきながら、相談しやすい環境づくりを徹底してまいります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在行っておりません。	はい4% どちらともいえない12% いいえ52% わからない32%	保護者様からのニーズが高まれば、企画・実行させていただきたいと考えております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	相談窓口の案内は契約時にさせて頂いております。もしそのような状況があれば迅速に丁寧に対応させていただければと思っております。	はい60% わからない40% ・苦情があったことがない。 ・苦情は今までない。	少しの疑問点でも気軽に相談しやすい環境を作るよう、努めてまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に対応させていただき、必要であれば面談等でお時間を頂戴しております。	はい92% どちらともいえない4% わからない4%	ご利用者様、保護者様に第一に寄り添っていけるよう、努めてまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報の発行などは現在行っておりません。活動等については玄関の月ごとのお手紙にてお知らせさせて頂いております。	はい60% どちらともいえない4% わからない36%	月ごとのお手紙に加え、なにか発信できるものを作っていけるように検討いたします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の記載のある書類は鍵付きのロッカーに保管してあります。	はい96% わからない4%	今後も個人情報の取り扱いには厳重に注意してまいります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、玄関の水色のファイルにていつでもご覧いただけるようにさせて頂いております。	はい84% どちらともいえない4% わからない12%	玄関下でのファイルにまとめておりますが、わかりにくいいため、掲示等も増やしていけるよう検討してまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1~2回、避難訓練を設定・実施するとともに、普段のお買い物やお散歩の際にも避難ルートを歩くようにしています。	はい100%	不測の事態にも対応できるように、訓練の実施はもちろん、安心できる関係づくりに努めてまいります。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	月に一回、虐待防止委員会として、虐待防止の観点からの会議を実施させて頂いております。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は撤廃させていただいております。また、身体拘束廃止についての研修も年に一回行っております。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師からの指示が必要なケースについては保護者様と相談させていただき、個別にご対応させていただいております。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員全体に注意喚起しながら、状況の確認、改善点の抽出、改善後の確認をしながら、安全に教室運営ができるように心がけております。		